

(様式1)

大 学 名	大阪市立大学	学 問 分 野	人文科学
専 攻 等 名	哲学歴史学専攻 人間行動学専攻 言語文化学専攻		
拠点のプログラム名称	都市文化創造のための人文科学的研究		
拠点リーダー氏名	阪口弘之	所属部局・職	文学研究科・教授
プログラムの概要	都市に生きる人間のいとなみの基礎となる文化を向上させるため、国際学術交流を基礎として、文化の視点から都市を学問的に深く考察し、その成果を積極的に社会に発信する。		
拠点形成の目的・必要性	<p>研究教育拠点として、文学研究科に都市文化研究センター(以下センター)を設け、3つの研究教育チームを構成して研究教育にあたる。</p> <p>都市に蓄積されてきた文化的伝統(学問・思想・宗教・文学・芸能・生活様式・社会構造等)を歴史的に解明するという基礎研究を重視する。その成果をふまえて、現代都市の諸問題を実態調査その他で研究する。欧州だけでなくアジア都市にもサテライトセンターを設け、アジア的視点による都市の文化的研究を重視する。</p> <p>本拠点の研究を継続しうる若手研究者を育成する。</p>		
研究拠点形成実施計画	<p>文学研究科とハンブルク大学で継続中の共同研究を基礎に、都市の文化的研究を推進する。</p> <p>欧州・アジアの諸大学と学術交流協定等に基づく共同研究体制を作る。欧州とアジアの諸都市にサテライトセンターを設け、共同研究推進の基地とする。</p> <p>センターに比較都市文化史研究、現代都市文化研究、都市の人間研究の研究教育チームを設け、文化に焦点を当てて都市を研究する。</p> <p>国内外の優れた研究者を招聘し、3チームの研究者と共同研究を行い、世界の頭脳と交流をはかる。国際シンポジウム、研究会を開催する。</p> <p>ホームページを立ち上げ、国際的な研究教育のネットワーク環境を確保する。複合的データベースを構築し、ホームページに組み込む。</p> <p>研究成果は、ホームページ、『都市文化研究』に公表する。発展性ある研究や国際シンポジウムの成果は『文学研究科叢書』として刊行する。</p> <p>大阪市をはじめ都市自治体に、研究成果を発信し具体的提言を行う。</p>		
教育実施計画	<p>本研究科・国内外の大学の優秀な後期博士課程大学院学生を、研究計画書にもとづいて、研究教育チームに参加させる(以下COE研究員)。</p> <p>世界の優れた研究者による専門分野をこえるゼミ等にCOE研究員を参加させ、都市文化に関する幅広い識見による有効な研究視角を定めさせる。</p> <p>優秀なCOE研究員に、長期海外研修や国際学会発表の機会を与え、研究を活性化する。本学のTA制度やRA制度を活用し研究教育能力を育成する。</p> <p>本プログラムで学位を取得したCOE研究員を博士研究員として採用し、本拠点の将来を担う若手研究者として養成する。</p>		

〔イメージ図〕

